

第7回宇治市地域コミュニティ推進検討委員会 発言の要旨

日 時 平成 26 年 11 月 4 日 (火) 16 : 00 ~ 18 : 00
場 所 うじ安心館 3 階 大会議室
出 席 者 森委員長ほか委員 14 名

発言の要旨

【地域連携ネットワーク】

地域活動は学区毎がやりやすく、一番良いような気がする。宇治市も学区毎の地域組織を考えてみてはどうか。

他市での事例として、学区毎に公民館を設置し、介護、福祉、自治会など全ての拠点として、職員が常駐している事例がある。

今のコミセンを解体して、小学校区ごとにコミセンを設置するのは無理があると思う。先進地では、小学校区ごとにコミュニティ拠点施設が設置されているが、宇治市ではそうはなっていないし、先進地で実施されている施策を宇治市でそのまま実施するには無理がある。

宇治市の地区コミュニティ推進協議会は、複数の小学校区で構成されている。このように小学校区よりも大きな組織・地域で成功している事例はないものか。

町内会・自治会、学区福祉、青少協などそれぞれ活動しているが、まとまりがない。そのまとめ役の範囲を地域が決めるのであれば、やっていけないのではないか。ピラミッド型の組織が必要ということではないが、やはりまとめ役は必要ではないか。

地域活動されている団体の多くが小学校区を単位に活動されており、整合性を考えると小学校区が良いと思う。

小学校区毎にコミュニティ組織をつくるのが一番理想的だということはよくわかった。しかし、現状としてネットワーク化、連携ができていない地域がある中で、まだその先というのは難しいのではないかと肌で感じている。

先進地事例を見ると、住民組織の位置付けがされ、活動拠点となる施設があり、行政と連携している。こうした部分は宇治市にも必要ではないか。

町内会・自治会の連合組織の範囲について、小学校区をまたがる地域が結構ある。小学校区でのコミュニティを考えると、大きな課題となる。

また、自分の地域には、集会所はあるものの、コミュニティセンターなどの拠点となる施設はない。

2つの仕組みの組み合わせが必要ではないかと感じている。

1つは、小学校区単位が良いと思う。

もう1つは、学区毎が困難な地域があるのであれば、宇治市の地区コミュニティ推進協議会程度の単位に市域を分割し、そこにも地域活動を補完する機能を持たせるような、バックアップ機能のようなものが必要ではないか。地域の大きな単位で、協働コーディネーターのような人が必要ではないか。

地域によって組織や組織間の関係性は異なる。小学校区などでコミュニティ組織を立ち上げるのであれば、宇治市で方向性を示し、地域の議論を積み重ね、様々な団体の合意を得なければ、せっかく良いものを作ろうとしても逆効果になってしまう。

常日頃、連合組織で学校と協力しながら活動しているが、分散進学の問題が難しい。また、学区をまたがる町内会・自治会がある。

小学校区単位で連合町内会、あるいは協議会を作るとは身近で良いし、連携もしやすいが、課題がある。

様々な課題が出てきたが、全てを解決できるような話ではないし、学区別にしても多くの課題があり、全て解決するかと言えばそういうわけではない。少なくとも、今より皆さんがやりやすい、活動しやすいと思えることぐらいの目標にしておいた方が良いのではないかと思う。